

## 知事コメント

令和3年6月28日(月)

本日(6/28) 25名の新型コロナウイルス感染者を確認致しました。緊急事態宣言の措置が開始されてから、1ヵ月余りが経ちましたがやはり依然として、毎日多くの新規感染者が確認されております。

新規感染者数の前週との比較についても、5月23日に措置が開始されて1週目(5/30)に273名、それ以降183名(6/6)、104名(6/13)、61名(6/20)と減少しておりましたが、昨日(6/27)の新規感染者数は前週と比べて、同じ数61名となっており、新規感染者数の減少に鈍化が見られます。

県の7つの指標の内、3つが第4段階のまま推移しています。

また、6月24日に感染力が、従来株いわゆるアルファ株の1.8~1.9倍とも言われるデルタ株について、県内で初の感染例を確認し、金曜日までに、複数の県外由来疑いの症例を含む、5例が確認されております。

デルタ株の感染力は、ゴールデンウィーク後の感染急拡大の一因である英国由来のアルファ株と比較しても高いと言われ、デルタ株への置き換わりが進めば、再び感染急拡大に繋がる懸念が懸念されます。

県では、緊急事態宣言中、県外の皆様にも不要不急の都道府県間の移動の自粛をお願いしているところですが、改めてお願いを申し上げます。緊急事態宣言下における来沖については、自粛をしていただけますよう宜しくお願いします。やむを得ず来沖される場合でも、確実に事前のPCR検査、又は空港での抗原検査等による陰性判定を受けていただくようお願いいたします。事前にPCR検査を受けて、陰性判定を受けていただくこと、これを強く求めたいと思います。そして沖縄に来られた後も、県民との会食等の接触は控えて頂きますよう、くれぐれも宜しくお願い致します。

続いて、県民の皆様にも、重ねて都道府県間の移動・往来の自粛と外出自粛をお願い致します。県内の人の流れ、動きについては、緊急事態宣言の発令された週以後、週を重ねると少しずつ人の動きが出てきていることから、改めて気を引き締めなければなりません。県外において、緊急事態宣言が解除された東京や大阪では、解除の後に新規感染者が増える傾向が見られ、デルタ株については、東京都において、6月26日に過去最多の68例が確認されています。デルタ株の感染の拡がりを初期段階で抑えることが重要です。県外からの来訪者との接触については慎重にも慎重な、ご検討をお願い

い致します。緊急事態宣言中、気を緩めず、徹底した感染対策を宜しく願います。

また、県としまして、酒類やカラオケ設備を提供している店舗に休業要請、その他の飲食店についても営業時間短縮の要請をしており、多くの皆様にご協力を頂いているところです。本当にありがとうございます。しかしながら、県の調査で109店舗にご協力が得られず、命令を発して店舗名を公表致しました。

飲食店経営者の皆様。皆様の大切な店舗でクラスターを起こさない為にも、そして大事なお客様を守る為にも、改めて徹底した感染対策をお願いします。徹底した感染対策により抑え込むことが、一日も早い経済の回復につながるということをしっかりご理解いただきたいと思えます。

ワクチン接種は現在、市町村における高齢者へのワクチン接種を補完するため、広域ワクチン接種センターを2カ所設置して稼働しています。その接種状況を踏まえつつ、先行して警察職員や介護従事者、感染リスクの高い職種についても接種への取り組みをすすめているところです。

さらに、今般新たに「沖縄県エッセンシャルワーカー等広域ワクチン接種センター(仮称)」を設置することと致しました。このエッセンシャルワーカーワクチン接種センターでは、感染リスクの高い職種や社会秩序の維持及び経済活動の回復に従事するエッセンシャルワーカー等を対象として、那覇クルーズターミナルにおいて、7月15日からの運営を目指し、そのための業務委託提案募集の手続きを本日から開始しております。

県としましては、県民の皆様の感染抑止のご協力を頂きながら、感染対策の切り札であるワクチン接種を推進するため、ワクチン接種加速化計画の策定に取り組んでいるところであり可能な限り早期に集団免疫が得られるよう、県全体のワクチン接種加速化に全力で取り組んでまいります。

新型コロナウイルスは誰かひとりが対策に懸命に取り組んでも排除できるものではありません。県民全員の日頃の感染対策が重要です。デルタ株においても、「うつらない」「うつさない」というお一人おひとりの危機感と対策が最大の対抗手段となります。

緊急事態宣言の措置期間は、まだ半ばです。何卒一丸となって対策に取り組んで参りましょう。どうぞよろしくお願い致します。